/du	ムウ学書	10000000000000000000000000000000000000	開講年度	亚成21年度 /	2010年度)		81 = 1	 技術者の日本語Ⅲ			
仙台高等専門学校   開講年度   平成31年度 (2019年度)   授業科目   技術者の日本語Ⅲ   科目基礎情報											
科目番号	CIHTK	0003		科目区分			一般 / 必修				
授業形態 講義											
			 学科Ⅰ類(留学生)	以「類(留学生)		対象学年 2		_			
開設期通年			/ (ш )/			週時間数 2					
教科書/教材 なし						<u>  -   -   -   -   -   -   -   -   -   -</u>					
担当教員	•		宏,梅木 俊輔								
到達目標											
		5日本語運	 用に馴染み、教科学		 9のサポートをほと	んど受ける	ことなく	く自立的に進められるようになる。			
ルーブレ											
,,,,,			理想的な到達し	理想的な到達レベルの目安		 ベルの目安	安 未到達レベルの目安				
評価項目1			周囲のサポート	周囲のサポートをほとんど受ける ことなく、理数系教科書を読むこ		をほとんど 系教科書を きる。	受ける ある程	周囲のサポートをほとんど受ける ことなく、理数系教科書を読むこ とができない。			
評価項目2			周囲のサポート ことなく、理数 ができる。	周囲のサポートをほとんど受ける ことなく、理数系講義を聞くこと ができる。		周囲のサポートをほとんど受ける ことなく、理数系講義をある程度 聞くことができる。		周囲のサポートをほとんど受ける ことなく、理数系講義を聞くこと ができない。			
評価項目3	1		ことなく、理数	周囲のサポートをほとんど受ける ことなく、理数系授業のやりとり に参加することができる。 周囲のサポートをほ ことなく、理数系授 にある程度参加する。		系授業のや	りとり	周囲のサポートをほとんど受ける ことなく、理数系授業のやりとり に参加することができない。			
評価項目4			ことなく、理数	、をほとんど受ける 対系授業のノート・ ことができる。	周囲のサポート ことなく、理数 技術文書をある きる。	系授業のノ	-	周囲のサポートをほとんど受ける ことなく、理数系授業のノート・ 技術文書を書くことができない。			
学科の到	」達目標了	頁目との [	 ∮係								
教育方法											
本科目の目的は、2学年の留学生が履修する理数系専門科目の授業において、基本的には周囲のサポートをほどることなく、自立的に学習を進めていくために必要となる日本語の4技能(読む・聞く・話す・書く)を総合的ることにある。								には周囲のサポートをほとんど受け 引く・話す・書く)を総合的に高め			
を理数系科目担当教員と連携し、2年生の理数系授業で使われる日本語について、各科目の使用教材を中心に行う 授業の進め方・方法 復習により、定着化を図る。また、これらを通じ、各自の専門分野に応じた語彙リストの作り方や授業外での自 材の探し方といった学習スキルについても実践形式で取り組む。								科目の使用教材を中心に行う予習・ ストの作り方や授業外での自習用教			
注意点		・授業	では予習と授業前課後、学習者の日本語	題を毎回指示するの	 )で、授業前に行っ	てくること ことがある	0				
授業計画	1		T			1					
		週	授業内容			週ごとの到		MH2 1-1-1			
	1stQ	1週	ガイダンス			授業計画を理解し、前期の取り組みに自分なりの見通 しが立てられるようになる。 周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系教科書を					
		2週		むための日本語皿		読んで理解できるようになる。 周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系の講義を					
		3週	理奴糸講義を聞く	ための日本語Ⅲ(前	<del>  川</del> 州) (1)	聞いて理解できるようになる。					
前期		4週	理数系授業のやり期)①	里数系授業のやりとりに参加するための日本語Ⅲ(前 別)①			理数系の授業・研究室で使われる日本語に馴染み、周囲のサポートをしばしば受けつつ、簡単なやり取りができるようになる。				
		5週	理数系授業のノート・技術文書を書くための日本語 Ⅲ (前期) ①			周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系授業のノートを書くことができるようになる。					
		6週	理数系教科書を読	里数系教科書を読むための日本語Ⅲ(前期)②			周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系講義での 板書やスライド、配布資料を読んで理解できるように なる。				
		7週	理数系講義を聞く	里数系講義を聞くための日本語Ⅲ(前期)②			周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系授業での様々な指示を聞いて理解できるようになる。				
		8週	理数系授業のやり期)②	里数系授業のやりとりに参加するための日本語Ⅲ(前 期)②			オポート	グループワークやディスカッション をしばしば受けつつ、参加できるよ 			
	2ndQ	9週	理数系授業のノー Ⅲ (前期) ②	型数系授業のノート・技術文書を書くための日本語 I (前期) ②			ポートを スライド、 こなる。	しばしば受けつつ、理数系授業の発 、レジュメ等)を作成することがで			
		10週	理数系教科書を読	里数系教科書を読むための日本語Ⅲ(前期)③			周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系授業でクラスメイトが書いたノートや発表資料を読んで理解できるようになる。				
		11週	理数系講義を聞く	理数系講義を聞くための日本語Ⅲ(前期)③			周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系授業のグ ループワークやディスカッションでの発言を聞いて理 解できるようになる。				
		12週	期) ③	,			理数系授業における実験・研究・発表を周囲のサポートをしばしば受けつつ、行うことができる。				
		13週	Ⅲ(前期)③				周囲のサポートをしばしば受けつつ、理数系のレポートを書くことができるようになる。				
		14週	まとめ (2週~7週		既習事項の総合復習をし、定着化を図る。						
		15週		まとめ (8週~13週分)		既習事項の総合復習をし、定着化を図る。					
		16週	学習の振り返りと	ノイードハック							

	3rdQ	1週	ガイダンス		授業計画を理解し、後期の取り組みに自分なりの見通 しが立てられるようになる。						
後期		2週	理数系教科書を読むだ	ための日本語Ⅲ(後期)①	周囲のサポートをほとんと 科書を読んで理解できる。	ご受けることなく、理数系教 ようになる。					
		3週	理数系講義を聞くため	めの日本語Ⅲ(後期)①	周囲のサポートをほとんと 講義を聞いて理解できる。	ご受けることなく、理数系の ようになる。					
		4週	理数系授業のやりと期)①	りに参加するための日本語Ⅲ(後	理数系の授業・研究室で候 囲のサポートをほとんど受 取りができるようになる。	使われる日本語に馴染み、周 受けることなく、簡単なやり					
		5週	理数系授業のノート Ⅲ (後期) ①	・技術文書を書くための日本語	周囲のサポートをほとんと 業のノートを書くことがて	ご受けることなく、理数系授できるようになる。					
		6週	理数系教科書を読む	ための日本語Ⅲ(後期)②	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系講義での板書やスライド、配布資料を読んで理解できるようになる。						
		7週	理数系講義を聞くため	めの日本語Ⅲ(後期)②	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授 業での様々な指示を聞いて理解できるようになる。						
		8週	理数系授業のやりと 期)②	りに参加するための日本語Ⅲ(後	理数系の授業でのグループワークやディスカッション に周囲のサポートをほとんど受けることなく、参加で きるようになる。						
	4thQ	9週	理数系授業のノート Ⅲ (後期)②	・技術文書を書くための日本語	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授 業の発表資料(スライド、レジュメ等)を作成するこ とができるようになる。						
		10週	理数系教科書を読む	ための日本語Ⅲ(後期)③	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授 業でクラスメイトが書いたノートや発表資料を読んで 理解できるようになる。						
		11週	理数系講義を聞くため	めの日本語Ⅲ(後期)③	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系授 業のグループワークやディスカッションでの発言を聞 いて理解できるようになる。						
		12週	理数系授業のやりと 期) ③	りに参加するための日本語Ⅲ(後	理数系授業における実験・研究・発表を周囲のサポートをほとんど受けることなく、行うことができる。						
		13週	理数系授業のノート Ⅲ (後期) ③	・技術文書を書くための日本語	周囲のサポートをほとんど受けることなく、理数系の レポートを書くことができるようになる。						
		14週	まとめ(2週~7週分	)	既習事項の総合復習をし、定着化を図る。						
		15週	まとめ(8週~13週2	<del>'</del> <del>)</del> )	既習事項の総合復習をし、定着化を図る。						
		16週	学習の振り返りとフィ	ィードバック							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標											
分類 分野 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週											
評価割合											
		発表	 表	技術文書の作成	ポートフォリオ	合計					
総合評価割合 35				35	30	100					
基礎的能力		35	_	35	30	100					